

平成27年2月27日

行田市長 工 藤 正 司 様

行田市男女共同参画推進審議会
会 長 田 代 美 江 子



平成25年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書 に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見

行田市男女共同参画推進条例第12条の規定及び第3次ぎょうだ男女共同参画プラン1章の4計画の推進について、に基づき、平成25年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する当審議会の評価及び意見を下記のとおりまとめました。

第3次ぎょうだ男女共同参画プランは平成24年度から平成33年度までの10年間のプランとなっており、平成25年度のプラン進捗状況が2回目の評価となります。今回の当審議会の評価及び意見を十分御理解いただき、各部署における次期の運営に活かし、行田市において一日も早く男女共同参画社会が実現されることを期待します。

記

【総括的事項】

- 多くの部署が男女共同参画プランを意識し、取り組みの計画を立て、その実現に向け努力していることについては評価します。
- 第3次ぎょうだ男女共同参画プランの意義を再度確認、理解した上で、より具体的な計画を主体的に立案することを期待します。
- 第3次ぎょうだ男女共同参画プランの推進にあたっては、各担当のリーダーがプランの意義を十分に理解することが前提となります。そのため、男女共同参画に関する職員研修会を実施するなど、組織として共通認識を確立するための積極的な取り組みをする必要があります。

【個別的事項】

- 年度計画が漠然としているため実績が妥当か否か評価できないところがあるため、評価が可能な計画・目標を設定してください。
- 自己評価については、何故その評価になったのか、理由を含めた、より具体的な実績報告とすると共に、その評価が今後の進め方に具体的に反映されることを求めます。
- 自己評価が「A」のものは、更なる施策の推進に向けて、新たな計画を立て、その実現に取り組んでください。
- 自己評価が「D」又は「E」のものは、担当部署内での意見交換等を実施し、達成できなかった原因を分析し、次年度以降の施策の取組に活かしてください。
- 進捗状況調査結果の実績（事業の内容）の記入について、詳細に報告され、改善されている点は評価できますが、依然として前年度と記載内容が同様である所管課がある

ため、具体的に取り組んだ内容や評価を数字も含めて記載するよう心がけてください。

- 男性職員の育児休暇取得はゼロです。制度の活用に向け、積極的に推進してください。
- 審議会等の女性の登用について、40%の目標に向かい段階的また積極的に取り組んでください。また、単に女性がいればいいというのではなく、女性が参画することの意義について、さらに理解をすすめることを期待します。
- 男女共同参画推進センター「VIVA ぎょうだ」を活用している団体との連携を更に促進し、VIVAぎょうだへのボランティアサポートスタッフ制度（仮称）を導入してください。
- 男女共同参画推進センターの事業運営について意見や要望等を聞き、男女共同参画社会づくりのための総合拠点施設としての機能充実と有効な利用を図るため、利用者の意見等を聞く仕組みを検討してください。

*ボランティアサポートスタッフ制度とは、VIVAぎょうだのさまざまな事業の企画や運営の支援に関わっていただくサポートスタッフ（＝ボランティアスタッフ）制度

以 上

行田市男女共同参画推進審議会委員名簿

区 分	氏 名	所 属 等	備 考
学識経験	田代 美江子	国立大学法人埼玉大学	会 長
	山崎 孝子	埼玉県男女共同参画アドバイザー	副会長
	井上 文子	社会保険労務士	
	茂木 美智代	埼玉県家庭教育アドバイザー	
関係団体の代表	山岸 泰輔	公益社団法人 行田青年会議所	
	武井 知英子	行田市保幼小連絡協議会	
	筆 容三	公民館長	
	西山 カツ枝	行田市民生委員・児童委員連合会	
	高橋 由美	行田市 PTA 連合会	
	吉田 哲	行田市自治会連合会	
関係行政機関	矢本 政子	埼玉県利根地域振興センター	
公募市民	松島 弘		
	大野 久美子		
	松村 隆史		